

2024 年度第 1 回代表幹事会 議事録

縣陵東京同窓会

1. 日時：2024 年 8 月 31 日(金) 16:30 ~ 18:30
2. 場所：Zoom 会議
3. 参加：久保田会長、三澤副会長、小松副会長、百瀬幹事長、福井総務委員長、松澤事務局長、森本総会支援委員長、小林会計委員長、衣袋縣陵レディース委員長、濱田メディア戦略推進委員長、二木次世代委員長、神保実行委員長 12 名参加
4. 議事
 - (1) 開会あいさつ (百瀬幹事長)

本年度最初の代表幹事会にお集まり頂きありがとうございます。6 月の総会・懇親会は、実行委員会の皆様の周到な準備のお陰で盛会のうちに終了しました。黒字も確保するという素晴らしい結果になりました。関係者皆様のご尽力に感謝申し上げます。
 - (2) 久保田会長挨拶
 - ・ 総会も無事におわり第一回の代表幹事会を開催します。難しい課題もありますが、資料は配布済ですので効率よく十分な議論をお願いいたします。
 - (3) 第 57 回総会懇親会の総括と課題 (神保実行委員長)

(神保実行委員長が資料 1-1,1-2 に基づき総括と決算報告について説明)

 - ・ 次期実行委員会との細かい引継会は 9 月 13 日に予定しており、終了すると決算が確定する。1 万円ほどの黒字が確保できる見込み。
 - ・ 当日の配布物で「会則・運営細則等」の印刷物の余りの保管場所について要確認。
 - ・ 若い人達の席が会場の端の方だったが、来年は真ん中に近いテーブルに変更するようにしたい。
 - ・ 若い人達が年配の方々の隣に配置するなど年代が前後で混ざるようにしたい。
 - ・ 大学生も数人来ていたが、来年また参加したいと思ってもらうために、ステージに上がってもらって一言（最近何を頑張っているのか、学校で何を専攻しているのかなど）話してもらおうと先輩たちも興味があるので良いと思う。若い人を盛り上げることを重点的に考えていきたい。
 - ・ 実行委員会の皆様ありがとうございました。素晴らしい企画で、皆さんがその時思う一番良い方法を演出してもらおう事が大事だと思いました。
 - ・ 過去において、第 27 回の時に 46 回生が 27 名、第 29 回の時に 48 回生が 25 名ほど新卒で参加している。それが第 35 回の時の高 51 回生を最後にして新卒者の出席が途絶えていた。来年は、是非とも復活できるように、次世代委員会も協力して取り組んで欲しい。会費を補助してより安くする方法もある。
 - ・ ワインと判子、縣陵 100 周年 CD などの販売の場を設けられて良かった。

(神保実行委員長の感想)

- ・ 実行委員をやって良かった。苦労もあったが、同期と一つのことを仕事以外で成し遂げることが出来たことは良かったし記念にもなった。卒業後会えてなかった人にも会えたことも良かった。
 - ➔これをきっかけに同期の方とのお付き合いがこれからも続くようにして頂けると有難い。
- ・ 9月13日(金)の引継会が終了すると決算が確定するので、小林会計委員長の監査も早めに受けて、9月28日の幹事会では確定した決算報告をお願いします。
 - ※全会一致で承認された

(4) 2025年度総会懇親会の会場変更提案について(二木総会支援副委員長)

(二木総会支援副委員長が資料に基づいて説明)

(二木総会支援副委員長)

昨今の会場費の高騰等の影響により参加費が上昇しているので会場の変更を考えてみた。決算も数万円程度の黒字に留まっており実行委員会も苦労している。そのため、会場の見直しも考えてみたので、今日は皆さんと自由に意見交換したい。なお、アルカディア建替えの予定は休止となった模様。

(森本総会支援委員長)

現在の会場のアルカディアでもコスト削減できないかヒアリングしてみた。

- ・ 現在の富士の間の半分使用とすると、コストは11-12万円安くなるが、立食となるほか、130名が限度になってしまう。
- ・ 料理をビュッフェスタイルにすると、料理代は参加者の8割で済む。(約30万円削減可能)
- ・ 今は飲み放題で2,310円/人だが、実際に飲んだ量で換算すると1,760円/人で済んでいる。
- ・ 今はほぼ全日を借りているが、午後だけ借りる(13時~17時半)にすると7~8万円削減可能。この場合でも、アルカディアの好意で準備の為として12時から使うことができる。実質12時から17時半で使っている。

(意見交換の内容)

- ・ 来年の総会懇親会はアルカディアで押さえており引継ぎ会も行っているため、来年は会場を変える必然性はないのでアルカディアで実施した方が良い。第31回の時に会場変更したが、第39回からアルカディアに戻った経緯がある。実行委員会の会場探しの負担が大きかった。参加者からも会場が毎年変わるので、会場探しに苦労したとの不評が多かった。今回の新会場候補は地下2階だが、それと同じような会場で過去もしたことが有った。会費は安かったが、天井も低くて柱も中にありあり、一団となって纏まるのが出来にくい会場だった。
- ・ どうしても変えないといけないというメリット、今のアルカディアではダメだと

いうデメリットは何か。

➡一番のデメリットはコストの高止まり。

- ・ 他の会場も、立食だったり、狭くなったりしたら安くなるのは当たり前。同窓会を開くことで一番大切なのは何かを考え無いといけない。参加費問題はあるが、いつもと同じ場所だから行けるといいう利点がある。会場探しをするのはデメリット。また、立食は辛いので勘弁してほしい。世の中の物価が上昇しているので多少の参加費の値上げは仕方ないと考える。
- ・ 一度離れるとアルカディアに戻るのが大変になる。私の時にアルカディアに戻したが、アルカディアの利点を大変受けてきた。実行委員会が新しい会場で企画を作るのは大変だと思うので、アルカディアで行う方法論を検討すべきと考える。
- ・ アルカディアは建替計画があったくらいだから、建替後は値段が結構高くなる。しかし、縣陵は長年世話になっている大変大事な顧客であり、黙っていてもコロナ前であれば200-300人集まり、200万から300万円の売上が上がる大事な顧客。今も縣陵仕様になっている。だから、縣陵の台所事情はこうなんだと伝えて指値で交渉したら良いと考える。建て替え前なので値下げの余地があると考え。
- ・ 試しに新しいところでやってみる価値はあるかもしれない。
- ・ 高34回が実行委員の時に、300人は無理だと言われたのに、見事に着席で実施した。そのような実績があるので、今更、立食は出来ないと考え。着席前提で感が手欲しい。
- ・ 今までの実行委員会の総括の中でも、準備時間が限られていて大変だったという意見が多かった、その意味で、準備時間も含めた使用時間の確認、天井の高さなどの確認は必要。また、新会場にすると会費が8,000円から5,000円になるとの事だが、安かろう・悪かろうでは困る。会員が満足するものが出るのかネットの写真だけでは信用できないので、その確認もお願いしたい。
- ・ 現在のアルカディアでのコスト削減策の検討が必要。
- ・ 新会場の候補場所で次のことが出来るか確認が必要
- ・ アルカディアから変更することには反対。あれだけのサービスをしてもらっているので、時間・形式を変えるなどやり方の工夫で吸収できる。参加費は安いのも大事だが、安いから・お洒落だから良いとかいう事だと感じが変わってくる。総会をしてから懇親会というフォーマリティが必要、縣陵は昔からアルカディアを使っているという格式も大切だと考える。

➡9/22(日)に下見を行い確認することとした。

- ① 受付・物品販売のスペースを十分に確保できるか。
- ② 前日までに機材や当日使用する印刷物を事前に会場に送付できるか。
- ③ 会場の収容人数は何名ほどか、250-260くらい入れる広さが必要。
- ④ 料理の質・量は参加者に満足してもらえる内容か

⑤ その他、当日までに確認事項をピックアップしておく。

※ 下見会の結果を踏まえて、改めて議論の場を持つこととした。

➡ その後、仮予約していた新会場からキャンセルが出たので直ぐに正式契約して欲しいとの要請があったが、それには応じられないため、下見会をキャンセルし、当該会場での来年度の開催は見送ることとなった。但し、新会場の調査は継続して行う。

(5) 丘の会の解散に伴う寄付金の取扱いについて

(三澤副会長から経緯を説明)

- ・ 昨年9月30日の東京同窓会の100周年記念式典の際に、丘の会の松尾会長から「会の運営に当たっては、直接、野球部にいた後輩達が本当にやる気を持って進めるといふ趣旨でない限り丘の会を残す意味は無い」という話があった。
- ・ その後、関係者で話し合った結果、丘の会の活動を休止するという結論になった。
- ・ 今年の会報にも「丘の会の活動休止と東京同窓会への丘の会基金の設立」という広告を掲載している。
- ・ 既に50万円を東京同窓会に寄付するという事で入金となされた経緯にある。
- ・ 寄付の趣旨としては、母校のクラブ活動で全国大会に出場するなどの機会に参加支援として使って欲しいということで、一番の目標は野球部の甲子園出場ですが、それに限らず使用したいと会長からはお聞きしている。
- ・ そこで、この寄付を東京同窓会としてどう取り扱うかを皆さんで決めて頂きたい。三澤副会長としては、財政委員会のあいている口座に「同好会基金」を設けること、決算書にも反映させて年度末の決算承認を頂くことを提案する。
- ・ 丘の会から野球部にも丘の会の残金の一部は同時に寄付されている。

※ 質疑応答の結果、次のことを全会一致で決定した。

1. 特別会計に科目を設定し、同好会基金を設定する。
2. 使い方については、使用基準を別途作成し、大きなイベントが発生した時に、幹事会で決定する。

(6) 縣陵東京同窓会の個人情報保護規定とプライバシーポリシーの策定について(百瀬)

- ・ 二木委員長に原案を作成してもらった。
- ・ 概ねはこの通りで良いと思うが、皆さんと細部を確認して最終案を作成したい。
➡ 資料(原案)に基づいて説明して質疑応答を行った。その内容を元にして二木さんが最終案を作成し、次回幹事会で再説明と承認手続きを行うこととした。

(7) 会費未納者対策と会報あがたの発送方法の変更について(百瀬幹事長)

(百瀬幹事長)

- ・ 本部同窓会が来年度より紙ベースでの会報発行を見直し、会費未納者には紙ベースの会報を送らずホームページで閲覧するという方法に変更することになった。この方針変更を踏まえ、東京同窓会ではどのような対策を取るのか、会費未納者対策と併せて検討していきたい。本日は、残り時間も限られていることから、先ずは自由な意見交換とし、今後、何回かの議論等を踏まえて方針を決めたい。
 - ・ 本部同窓会の背景は次の通り。
 - ① 変更理由：発送費の増大、ペーパーレスの浸透
 - ② 変更内容：会報の発送部数 20,432 部 → 約 4,000 部へ削減 (▲16,000 部)
 - ③ 会費徴収：在学時の 3 年間 (1 年間で 10 年分) で 30 年分を徴収している
年会費 1,000 円/人 × 10 年分 × 3 年間 = 30,000 円/人 (2019 年から変更)
 - ・ 東京同窓会の状況は次の通り
 - ① 終身会費納付者：706 名 (2024/5 現在) + 毎年約 10 名が新規納付
→ 10 名 × 30,000 円 = 300,000 円/年を毎年徴収
年会費納付者数：毎年 100 名弱が納付 100 名 × 3,000 円 = 300,000 円/年を徴収
 - ② 同窓会運営予算(2024 年度)：毎年 2 百万以上の経費が掛かる
会報発行費 755,185 円、各委員会運営費 1,287,736 円、合計 2,042,921 円
 - ・ 検討課題
 - ① 会費の納付者を増やすためにはどうしたら良いか。
総会懇親会やイベントの際に未納者から会費を徴収するなどを含む
 - ② 会報の発送方法についての検討 (現在の発送数：約 2,400 部)
東京も会費未納者への送付を止めるか、(2,400 部 → 800 部へ ▲1,600 部)
希望者だけに限定して発送、但し希望者には会費を納付してもらうか、
従来通りで変更なし、その他の方法があるか、
 - ③ コスト削減策：会報のページ数を削減、紙質を落とす、発送方法の見直しなど
- (会議参加者の意見)
- ・ 年会費は懇親会費を集めるときに集める。会報は年会費納付者だけに発送する。但し、名簿情報がアクティブかどうかを確認するため 2-3 年に 1 回ハガキで確認することも必要。
 - ・ 会費を維持会費と改称すると意識が変わる、会費納付者には縣陵グッズ (三大精神・校歌・覇権の剣のハガキ) などを送る。
 - ・ 大学の同窓会では、印刷を止めて HP に変更して約 80 万円コスト削減した。HP を頻繁に変更したが見ている人は少ない。東京も印刷と発送で約 40 万円掛かっている。出来るだけ HP を見ってもらうようにしていく必要がある。以前にヒアリングした時には HP で良いという人がいた。学年幹事を上手く使ってヒアリングしたらどうか。懇親会の際に納付してほしいと今でもお願いしているが、効果

がない。

- ・ 会費制度は出来てから 30 年近くになる。幹事になった方は会費を納めて欲しい。希望は終身会費。まずはそこからして欲しい。魅力ある東京同窓会作りが必要。会費制度の見直しも検討する。会報あがたの信書扱いについて再確認して欲しい。また、同時に封入している総会案内を別の方法にするなどの検討も必要。発送先の外注見積りを行いコスト削減の方法を考える。会報は出来るだけ多くの人に発送して欲しい。
- ・ 会報は紙でいらぬ・ネットで良いという人には送らないことにしたら良い。
- ・ 大学同窓会で、校友会のアプリを作った。使い勝手が良く、80 歳代の人も使っている。コスト削減にも繋がるのでアプリ開発したらどうか。
- ・ データ化する方法が良いが、急な変化だと戸惑う人が多いと思われるので何年かかけて行くと良い。
- ・ アプリの開発がベスト。年代的には紙でなくて良い。
- ・ 紙オンリーではなく、混合で選択できるようにしたら良い。
- ・ 記録を残すという意味での広報。送付した人の何パーセントの人が見ているか、そのまま捨てている人も多いのが現実。紙の会報をどこまでするのか。高齢者対策をどうするのかも考慮が必要。

※ 今日の議論をきっかけに引き続き検討を進めていくこととした。

(8) サテライトオフィスの設定と若手開拓に向けた母校との連携対応について

- ・ 久保田会長より、資料に基づき活動計画案を説明
昨年度、前校長の徳永校長との話で、若い人が同窓会に興味を持ち参加できる方法がないかが話題となり、その時に徳永校長からサテライトオフィスの提案があった。濱田さんも同席していて、私のところを使ってくださいという話になった経緯にある。
- ・ 二木次世代委員長より資料に基づき、若手開拓に向けた母校との連携対応の状況報告を行った。

(質疑応答の結果、次のように対応していくこととした)

- ・ サテライトオフィスを設定した際に、具体的に活動していく主体は次世代委員会となる。
- ・ 次世代委員会では既に取り組んでいるものも多いので、今後の具体的な活動内容については、委員会内で相談して頂き、また、必要に応じて他の委員会とも協議しながら、進めていくこととする。

(9) 縣陵レディースの今年度の行事予定について(衣袋縣陵レディース委員長)

(衣袋委員長から資料に基づいて報告があった)

(10) 日経長野版への広告掲載について(百瀬幹事長)

- ・ 8月30日付の日経長野版に松本県ケ丘高等学校の紹介記事が掲載される。
- ・ その記事に、東京同窓会として広告を出したので報告する。(税込み 33,000 円)
- ・ 掲載記事は送付してもらえるので、届いたら改めて報告します。
- ・ 縣陵東京ネットの検索数が増えることを願っています。

(11) 小林会計委員長からの報告

- ・ 一般会計の振込等の処理については、今のみずほ銀行ではネットバンキングが出来ず、みずほ銀行の ATM に行くしか方法がなく不便だったが、このほど、三井住友銀行で任意団体でもネットバンキングが出来ることが分かり、口座を開設した。その結果、自宅に居ながらネットバンキングで処理できるようになり、業務が格段に楽になったとの報告があった。

18:52 に閉会した。

以 上